

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608100101	科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	Revised LANDMARK FIT English Communication I(啓林館)			
	副教材	英単語ターゲット1400(旺文社) Revised LANDMARK FITサブノート (啓林館) 進研ウィンステップ英語リーディング1(ベネッセコーポレーション) 書いて身につくパターンプラクティス英文法教室 3rd Edition(桐原書店)			
到達目標	聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5つの領域において能力を伸ばすことを目標とします。				
選択条件	1年次生徒全員が履修します。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検3級・準2級など)				
授業内容	①中学校で学習した内容を繰り返し学習し、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。 ③副教材を使って様々な基礎的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。 ①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608110102	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	原則履修
使用教材	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)			
	副教材	英単語ターゲット1400(旺文社) transfer英語総合問題演習コースC [4th Edition](桐原書店) 書いて身につくパターンプラクティス英文法ワークショップ(桐原書店)			
到達目標	聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5つの領域において能力を伸ばすことを目標とします。				
選択条件	2年次生徒全員が履修します。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検準2級・2級など)				
授業内容	①英語コミュニケーションⅠで学習した内容を振り返り、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。 ③副教材を使って様々な基礎的な語彙や文法を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。 ①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608120103	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	Grove English CommunicationⅢ (文英堂)			
	副教材	英単語ターゲット(旺文社) 精選演習 英文法・語法問題600(いいずな書店) 精選演習 英文法・語法問題600 ハンドブック(いいずな書店)			
到達目標	聴くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5領域においてさらに高く能力を伸ばし、コミュニケーションを図る力をつけることを目標とする。				
選択条件	①4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望する生徒で、受験に英語が課せられている生徒。 ②難解な英語を学習したい生徒。				
	【補足】	授業を通して、大学入試に対応する力を高めることができます。			
授業内容	①英語コミュニケーションⅡで学習した内容を更に深め、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを生徒同士で話し合うなどして、結論をまとめたり、まとまりがある文章を書くなどの英語活動を行います。また、英文について速読・精読するなど、目的に応じた読み方を身につけます。 ③副教材を使って様々な標準的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。その際、自学では理解できなかった点を整理しておく。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。また、予習で理解できなかった点を授業を通して理解する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608130102(2年) 608130103(3年)	科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	Revised APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I (開隆堂)			
	副教材	Revised APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I Workbook(開隆堂)			
到達目標	日本語とは異なる英語の論理・表現の基礎を体系的に確認しつつ、英語の背景にある文化に対する理解を深め、相手への配慮をしながら積極的にコミュニケーションを図る力を養う。				
選択条件	①4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望する生徒で、受験に英語が課せられている生徒。 ②コミュニケーション能力を高め、英語の語彙や表現を身につけたい生徒。				
	【補足】 ライティングの力をつけたい人は取ることが望ましい。更に力をつけたい、より発展的な内容を学習しておきたい生徒は、続けて3年次で論理・表現Ⅱを取ることが望ましいです。				
授業内容	次のような英語の言語活動を行います。 ①さまざまな話題や場面について、英語で書いたり話したりする。 ②与えられた話題について対話したり発表したりする。				
学習方法	基本的な文法から確認をしていきますので、一つ一つの英文を確実に自分のものにしていきましょう。 ①授業の前にあらかじめ教科書の問題に取り組む。 ②授業では、予習で考えたものと照らし合わせて、適切な英語の表現を確認する。 ③基本的な英語の表現を身につけるために、学習した英文を音読したり書いたり、その表現を使って自分でさまざまな場面を設定し、英文を作ってみる。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608140103	科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅱ(開隆堂)			
	副教材	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅱ Workbook(開隆堂)			
到達目標	論理・表現Ⅰで学習した内容を発展させて、日本語とは違う論理・表現の体系を理解し、論理的に理解したり、自己を表現できるようになることを目標とする。				
選択条件	①論理・表現Ⅰを履修している生徒。 ②4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望している生徒で、受験に英語が課せられている生徒。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定(2級・準2級)のライティング分野にも対応できる力をつけることができます。				
授業内容	次のような英語の言語活動を行います。 ①さまざまな話題や場面について、まとまりのある英文を書いたり話したりする。 ②聞いたり読んだり、学んだこと、自分の経験を英語で書いて発表をする。 ③発表されたものを聞いて、内容について質問したり意見を述べたりする。				
学習方法	論理・表現Ⅰで学習する基本的事項を踏まえての内容です。 ①教科書の内容をよく理解し、問題に取り組む。 ②適切な英語の表現を確認する。 ③学んだ内容を使って自分のことを積極的に表現する。 ④さまざまな話題について自分の意見を持つことができるよう、英語の新聞、雑誌、ニュース等を利用する。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608160102(2年) 608160103(3年)	科目名	中国語	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	《最新版》 1年生のコミュニケーション中国語(白水社)			
到達目標	中国語の基礎や中国固有の文化を学び、文字を覚える。また、それらの知識を活用し、中国語で簡単な会話や読み・書きができるようにする。				
選択条件	①初めて中国語を学ぶ生徒。 ②高い学習意欲を持ち、積極的に中国語の学習に取り組める生徒。				
	【補足】 原則として、進学に直接関わる科目ではありません。教養として身につける内容です。				
授業内容	①発音練習を繰り返し行います。文法は例文を補充して説明します。 ②日常的な話題について、中国語でコミュニケーションを図る積極的な態度を育てます。 ③中国の習慣・文化・現状について質疑応答やディスカッションを通じて学習を進めます。				
学習方法	①繰り返し音声を聞いて発音の練習をしましょう。 ②わからない単語などは丹念に辞書で調べる習慣を身につけましょう。 ③辞書で調べることにより、語彙力を身につけましょう。 ④中国語は学んでいて、とても楽しい言語です。発音はリズム感があり、文字は親しみやすい漢字です。「勉強しよう」、「マスターしよう」と意気込むよりも、まず中国語を「好きになってみる」ことから始めましょう。 ⑤語学を習得するうえで大切なのは、「続けること」です。少しずつ続けていけば、いつの間にか大きな力となっているものです。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	ペア/グループワーク、課題、パフォーマンステスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度、ペア/グループワーク、課題、パフォーマンステスト			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	608170102(2年) 608170103(3年)	科目名	ハングル	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	Pointで学ぶ韓国語 I (花書院)			
到達目標	韓国語の基礎や韓国固有の文化を学び、ハングルを覚える。また、それらの知識を活用し、韓国語で簡単な会話や読み・書きができるようにする。				
選択条件	①初めてハングルを学ぶ生徒。 ②韓国や韓国文化に興味のある生徒。				
	【補足】 原則として、進学に関わる科目ではありません。教養として身につける科目です。				
授業内容	①テキストに沿って韓国の文化や習慣を紹介します。 ②韓国語の入り口である文字(ハングル)を覚えることを当面の目標とします。 ③文字と発音を身につけます。 ④韓国固有の文化を学びます。				
学習方法	韓国語はリズムがとても大切です。1日10分でもいいから、毎日発音の練習をしましょう。「継続は力なり」です。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、課題			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	624100102	科目名	総合英語 I	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	総合英語FACTBOOK English Grammar Core [3rd EDITION] ・WORKBOOK(桐原書店)、Joy Reader 2(CHART INSTITUTE)			
到達目標	英語コミュニケーションに加えさらに英語に触れる機会を増やし、文法や語彙を強化し、文章を多く読む。そのことでバランスよく英語の5領域(読む・聞く・書く・話す(やりとり・発表))の力を発展させる。				
選択条件	①4年生大学・短期大学・看護医療系または外国語専門学校等進学希望者で、受験に英語が課せられている生徒。 ②英語の運用能力・語彙力・表現力を高めたい生徒。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検準2級・2級など)				
授業内容	①英語コミュニケーション I で学習した内容を振り返り、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。 ③副教材を使って様々な基礎的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。 ①予習…問題を自力で解答し、分からなかった語等を調べる。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。グループワーク等で、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容をワークブック等を使用した家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	624180102(2年) 624180103(3年)	科目名	観光英語	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	ベーシック観光英語(三修社)			
到達目標	日本で生活をする私たちが、海外旅行をした際に体験するであろう様々な場面・状況において使われる英会話表現を体験的に学ぶことで、表現力・コミュニケーション力などを伸ばす。				
選択条件	①英語を聞いて理解し、英語で対話する力を身につけたい生徒。 ②英語での活動に積極的に取り組み、英語でのコミュニケーション力を高めたいと考えている生徒。 ③観光の場面でよく使われる英語表現を学び、海外旅行などをする際に必要とされる英語力を身に身につけたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	①短いDialogを活用して、「話すこと(やり取り)」を身につける。 ②観光英語特有の語彙・表現を絵や表、旅行パンフレット、地図の語彙・表現を使って学習し、学習したことを活用して「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと(発表)」を身につける。				
学習方法	表現力を身につけるためには、実際に英語を使ってみる事です。次のようなことに取り組んでいきましょう。授業にはALTの先生にも入っていただきます、たくさん話しかけてみましょう。 ①間違ってもいいので、積極的に英語で話したり書いたりする。 ②観光英語特有の語彙・表現を覚え、ペアワーク・グループワークに積極的に取り組む。 ③分からない単語や表現などは、辞書で調べる習慣を身につける。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	提出物、定期考査			
	思考・判断・表現	発表・活動、提出物、パフォーマンステスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	発表・活動、提出物、パフォーマンステスト			